

たるさぽ通信

第1号 H28年5月2日
発行:小樽市生活サポートセンター
「たるさぽ」

みなさんこんにちは。小樽生活サポートセンター『たるさぽ』です！（以下たるさぽと省略）
私たち「たるさぽ」はH27年4月1日に小樽市が開設した「仕事」や「生活」などで悩んでいる方の相談支援機関です。専門の相談員がお話を伺い、問題解決のためにサポートします。相談は無料です。

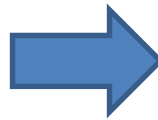
この4月1日で1年が経ち、様々な相談が寄せられました。昨年はこのような広報紙を発行することができなかったのですが、今後は定期的に発行して、「たるさぽ」の活動の様子や状況などを報告していきたいと思っています！！

昨年寄せられた相談の一例をご紹介します



Aさん 30代女性
統合失調症あり(障害者手帳保持)
金銭管理ができず、買い物依存あり
持ち金 10円で公共料金も滞納している。
新しい仕事先は決まっていますが不安

解決に向けて



《支援内容》

- ・生活福祉資金貸付
- ・家計管理
- ・職場定着支援
(障害者枠の就労のため
サポートひろばとの連携)



《結果》

- ・滞納していた公共料金が完済
- ・新しい仕事先にも慣れて継続できた
- ・病気の症状も落ち着いている



「たるさぽ」では個人の問題を解決するために様々な機関と連携を図り、綿密な話し合いを設けて課題を分析し、解決に向けて一緒に取り組みます！

就労準備支援活動の様子

たるさぽでは仕事をしたいが行動することができない、長続きしない、コミュニケーションがうまく取れない、すぐに仕事をすることが不安という人への支援として就労準備支援をしています。

準備が必要と判断された人にはコミュニケーショントレーニングや運動、調理などのプログラムを週1回実施するとともに、ボランティアや実際の就労体験なども行っています。

活動風景



相談に来られた方のインタビュー紹介



Yさん

Q：絵を始めたきっかけは？

A：もともと絵が好きで幼稚園の時から上手いと言われていました。小学校1年生の時にニワトリの絵を描いたら大人が描くような絵だと言われたことがあります。

Q：たるさぼに相談をしてからどのような変化がありましたか？

A：相談する前は自分の病気や病院のことなどで色々辛い立場だったが、相談してからは自分自身を出せるようになりました。次は何を描こうかな？と意欲的になった気がします。

Q：次にしたいと思っていることは？

A：大きな絵を描いてみたい。アッと驚くようなものを描きたいです。



Sさん

Q：たるさぼの就労準備に参加したきっかけは？

A：姉から勧められて参加するようになりました。調理や卓球、コミュニケーショントレーニングなど、楽しく参加しています。

Q：たるさぼの就労準備支援に参加してからどのような変化がありましたか？

A：姿勢改善体操で姿勢が良くなったと思います。少し身長も伸びたと思います。高齢者のデイサービスのボランティアに行くようになって半年が経つが、これからも続けたいと思っています。将来的には親の介護をしなければならないので、ヘルパーの資格を取って生かしたいと思っています。

Q：では今の目標は？

A：ホームヘルパーの資格を取ることで、徐々に始めたいと思っています。

お知らせ

6月8日～17日まで、小樽市役所渡り廊下にて「たるさぼパネル展」を開催します。

たるさぼの紹介や今回インタビューに応じていただいたYさんの絵の展示などを行う予定です。

是非市役所に足を運んでください！！



「仕事」や「生活」などで悩んでいてどこに相談をして良いか分からない方は小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」へご相談ください。

小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」

住所：小樽市花園4丁目2番14号 花園ビル2F

電話：0134-33-1124／0134-33-1128

FAX：0134-33-1128

メール：taru-sapo@city.otaru.lg.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/tarusapo/>

アメブロ：<http://ameblo.jp/tarusapo/>

Facebook とアメブロはじめました！！
日々の活動の様子を報告していますので、ぜひご覧ください！

